



照明普及会だより

第7号

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
平成2年4月

あかりマップ

「あかり文化と技術」に掲載されたあかりマップが大変好評で、あかりに興味ある方への便宜も考慮に入れ、詳細版を作成することとした。今回第一回目は九州地区よりご提供いただいた。興味ある方は一度ご観覧されたい。

〔九州地区〕

電気資料館（あかりの館）

当館では、歴史のなかでさまざまな暮らしを照らしてきた各種の灯具を一堂に展示しています。人々の暮らしと灯火の密接なつながり、そして灯具の変遷と発達を見ることができます。

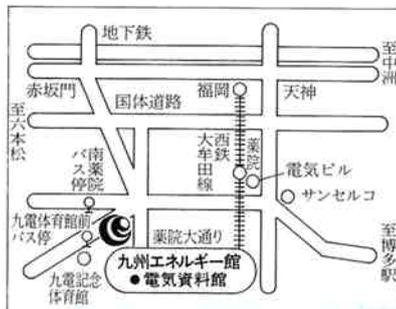
1階のあかり歴史コーナーでは、私たちの祖先が使用した灯具の歴史をたどりながら、暮らしとあかりの関わりをご覧いただけます。

2階のランプサロンコーナーでは、堅固で実用的なアメリカランプや豪華で装飾的なヨーロッパランプ、淡白で上品な和ランプなど約110点を展示しております。

＜展示物例＞

鶴見燭台（室町時代）、あこだ行灯・遠州行灯（江戸時代）、台ランプ

＜利用案内＞



開館時間・午前9時～午後5時

休館日・毎週月曜日（但し月曜日が祝祭日の場合はその翌日）

年末年始（12/29～1/3）

交通 西鉄バス⑩⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓
番系統「南薬院」バス停下車、徒歩約5分。
④③⑤番系統「九電体育館」バス停下車、徒歩約1分

九州エネルギー館

〒810 福岡市中央区薬院4の13の55

TEL 092-522-2333



あかりの館 外観



1階
あかりの歴史コーナー

2階
ランプサロン



平成元年度事業報告（平成元年4月～平成2年3月）

平成元年度は、各地区において特色ある「照明」の活動を活発に行なうための条件整備を図ることに留意しながら事業の展開を行なった。

(1) 普及会活動支援体制の整備

各地区で実施している講演会、講習会、コンサルティングの講師派遣に対し、地区活動の一層の活性化を図るため、地区と本部との連携の仕方等について検討を行なった。本年度はアンケート調査を実施。

(2) 照明普及会だよりの発行

普及会の事業活動や各地区の普及活動について維持員との情報交換のため、年3回発行し配布した。（第5号～第7号）

(3) ライトアップ事例集の作成準備

昭和63年末に発行した「ライトアップマニュアル」が大変好評であり、その後、事例も増えているので（平成2年11月発行予定）のための事例の収集を行なった。

(4) 照明普及賞に関する規則などの改訂

照明普及賞規則、推薦要領、推薦書の見直しを行ない、照明普及賞に「優秀照明施設賞」と「照明普及功労賞」のあることを明示し、各賞の審査基準を明確化した。

(5) 照明普及賞の選考・表彰

全国の維持員から推薦された照明普及功労者、優秀照明施設 324件から 優秀照明施設賞とし

て、82件、照明普及功労賞として1件計83件を選考した。表彰は5月24日の維持員総会で行なう予定。

(6) 「あかりの日」キャンペーン

10月21日の「あかりの日」の啓蒙活動の一環として、関連団体（社）日本電球工業会、（社）日本照明器具工業会、（社）日本電気協会）と共催し、全国10地区で60Wの電球と「見直しましょう 住まいのあかり」（小冊子）の入った特箱を街頭配布した。

(7) 刊行物の発行

平成元年度に発行した刊行物は次のとおり。

① 照明教室 No. 66 「照明の基礎知識」

平成元年5月発行（定価1030円）7000部

照明教室 No. 67 「光源」

平成元年9月発行（定価1030円）6000部

② あたらしい照明 No. 108 「平成元年照明普及賞号」

平成元年5月発行（定価875円）5000部

No. 109 「商店街路特集」号

平成2年3月発行（定価875円）4500部

(8) 茨城県のライトアップキャラバン事業に関する調査の受託

県より委託を受け、県近代美術館（元年7月）、偕楽園（元年9月）を対象に行なった試験実施結果の整理と県内の市町村へ推進するための指針作成を行なった。



九州地区普及活動状況

1. 照明講演会の開催およびライトアップ試験点灯の実施

照明学会九州支部では、長崎県、長崎市と共催で、3月15日、長崎市商工会館において、国際的な照明デザイナー石井幹子先生を招いて、照明講演会を開催した。

当日は、県・市など各自治体の都市計画関係者、観光・建設関係者など約230名の聴講者が集まり、「光の街づくり」と題して、国内外のライトアップ事例をスライドで紹介しながら「日本の街は、昼間はそれなりの個性をもっているが、夜の景観についてはどこも同じで意識されていない。そこに住む

人々が自分の街の夜のイメージアップを考えてほしい。」と、都市の夜間景観演出の重要性を力説した。

また、講演会にちなみ、3月9日から20日までの間、同市の夜景の名所として知られる稲佐山山頂のテレビ塔のライトアップを実施した。

テレビ塔のライトアップは初めての試みということもあり、関係者の関心も高く、また、ローカルニュースで放映されたため、市民の方の注目を集めた。

この照明講演会とライトアップにより、自治体等への景観照明についての認識を一層深めることができた。



照明講演会



長崎市稲佐山山頂テレビ塔のライトアップ

2. 「ライトアップ in 九州」の発行

近年、「都市のイメージアップ」「夜間の市街地の活性化」「市民の生活文化の多様化・都市24時間化への対応」などの観点から、大都市や観光都市を中心に景観照明の必要性が叫ばれている。

そこで九州地区普及会では、「魅力ある街づくり」、「親しみと暖かみのある都市づくり」へのお手伝いを行うために、九州各地のライトアップ施設（建造物13件、橋梁2件、樹木2件、モニュメント6件、イベント4件）を掲載した事例集を発行した。

この事例集は、自治体、観光協会、商工会議所等へ配布を行い、ライトアップの普及、PR活動に活用していくことにしている。



刊 行 物 紹 介

○刊行物紹介

あたらしい照明 No. 109「商店街路特集号」

あたらしい照明は現在4500部の発行を教え、A4判オールカラー24ページで施設例を中心に紹介してまいりました。今回は、日本各地の商店街路（モール等も含む）を特集し発行する運びとなりました。

（定価 1部につき875円（本体850円）送料別）

109号以前のバックナンバーにつきましても一部

○平成元年度照明普及賞応募件数、

受賞件数

	応募数	受賞数
北海道地区	30	7
東北地区	28	8（うち功労賞1）
東京地区	47	16
北陸地区	24	6
東海地区	50	10
関西地区	42	11
中国地区	21	8
四国地区	14	7
九州地区	34	10
全国計	324	83

在庫がございますので事務局までお問い合わせ下さい。なお、次回110号は「平成元年照明普及賞」号（平成元年1月1日～12月31日に完成された施設又は、照明普及に功績のあった団体、個人の2種類の賞の受賞の紹介を行ないます。

○平成元年照明普及賞

（優秀照明施設賞施設区別統計）

施設区分	地区									計
	北海道	東北	関東	中部	四国	九州	学芸	公共	その他	
学芸			1	1	1	2	5			
ビル、公共	1	1	1		1	2	6			
ホール	1						1			
ロビー	1	1	5	1	4	1	14			
ホテル・宴会場	2	1		2	2	2	10			
商業	1	3	1	2	2		10			
商店街				2		1	3			
屋内スポーツ	1			1	1		4			
屋外スポーツ	1						1			
道路				2			2			
景観	3	1	3	4	3	4	3	1	22	
その他		1		1	1		4			

平成元年度事業報告

（平成2年1月～3月）

1月10日 照明普及会だより専門部会

- 普及だより第7号の企画、編集、執筆分担

（内容）・平成元年度事業報告（年間）・普及活動報告およびあかりマップ（九州地区）・刊行物紹介・平成元年度照明普及賞の施設別応募状況

1月12日 普及活動支援体制整備専門部会

- アンケート調査票の文案の審議を行なった。
- 実際に依頼があった場合の支援の方法について審議を行なった。

1月26日 照明教室専門部会幹事会

- 照明教室 No. 68「照明のQ & A」の執筆進行状況および今後のスケジュール調整を行なった。

3月1日 事業連絡会

～2日

- 1日は照明学会会議室にて、平成元年度事業経過報告、平成2年度事業計画の内

容について審議した。会議終了後、ライトアップ事例見学として、横浜市の首都高速道路湾岸線ベイブリッジへおもむいた。

- 2日目は照明学会会議室にて、平成2年度事業計画の内容審議および各地区の普及活動報告を行なった。会議終了後、大宮市の大宮ソニックシティにて東京電力の施設について見学を行なった。

3月20日 普及活動支援体制整備専門部会

- アンケート(案)の審議 ○発送先の検討を行なった。

3月26日 あたらしい照明専門部会

- あたらしい照明110号「平成元年照明普及賞」の編集および執筆分担を決定した。

3月26日 ブライトいばらきライトアップキャラバン専門部会

- 報告書の作成について審議した。